

重点プロジェクトへの取り組み

1 若者が夢・希望を持てるまちを創る

～特に若者が、夢や希望をもってチャレンジできる環境づくりとして～

- ▶ 企業立地促進奨励事業費補助金 1億1,000万円
- ▶ 住宅建設資金金利負担軽減補助金 2,864万円
- ▶ 若年者移住定住促進家賃補助金 1,095万円
- ▶ 次世代育成事業 880万円
- ▶ 農業次世代人材投資事業 375万円



2 女性にとって魅力的なまちを創る

～特に女性に魅力的な働く場の創出、助け合いながら子育てできる環境整備として～

- ▶ 子ども医療費給付費 5,638万円
- ▶ 妊産婦サポート事業 794万円
- ▶ 在宅子育て応援金 772万円
- ▶ 子育て支援対策事業 580万円
- ▶ 待機児童支援事業 770万円
- ▶ ファミリー・サポート・センター事業 210万円
- ▶ 空き店舗活用補助金 200万円

3 活力と特色のある地域を創る

～特に人口減少の中で活力と特色のある地域づくりを進めるための支援策として～

- ▶ スポーツ健康まちづくり事業 3,313万円
- ▶ 地域支援事業 1,310万円
- ▶ 横道・谷地地区宅地開発指導事業 1,199万円
- ▶ 地域おこし協力隊事業 1,095万円



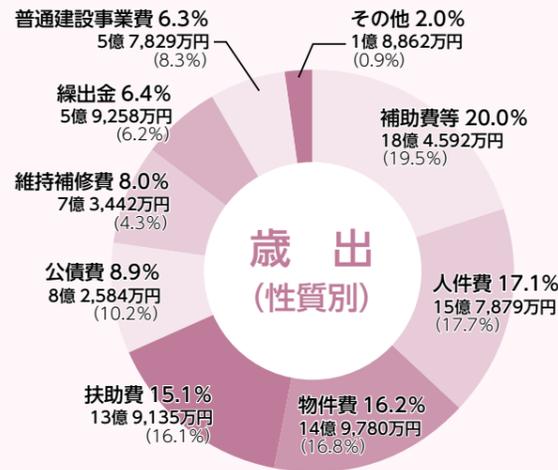
- ▶ 農地集積協力金交付事業 517万円

総合計画の部門別事業費

- I 生活環境 16億1,972万円
(除雪対策事業3億7,736万円など)
- II 健康福祉 17億9,154万円
(子ども・子育て支援事業4億9,801万円など)
- III 産業 5億6,111万円
(日本型直接支払制度2億5,032万円など)
- IV 教育文化 2億7,429万円
(森山総合公園管理事業9,834万円など)

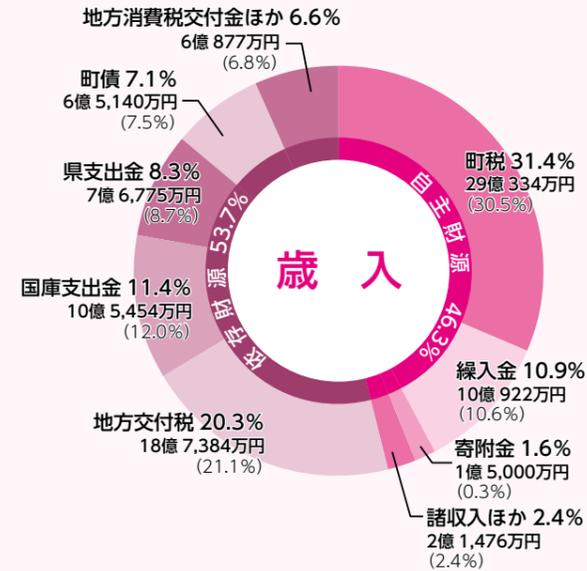
一般会計 92億3,362万円

前年度比 4億9,406万円 5.7%増



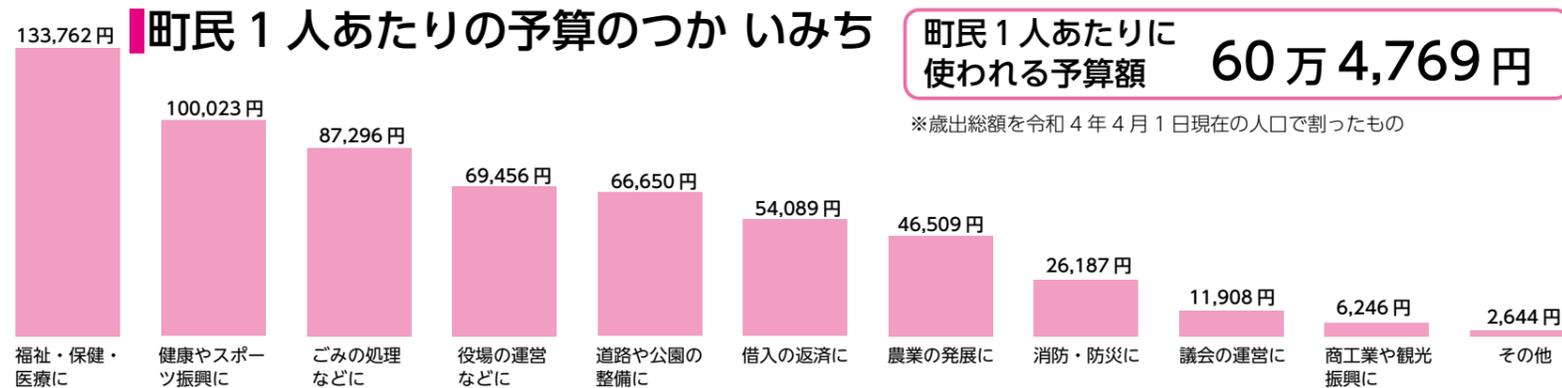
※ () 内は前年度予算の割合

補助費等は、企業立地促進奨励事業費補助金や県営農業農村整備事業の負担金などの増により、前年度比1億4,212万円増の18億4,592万円です。維持補修費は除排雪業務委託料の増により、前年度比3億6,065万円増の7億3,442万円です。



町税は、おもに個人町民税および法人町民税、固定資産税の増により前年度比2億3,402万円増の29億334万円です。寄附金は、ふるさと応援寄附の増により、前年度比1億2千万円増の1億5千万円です。町債は、農業農村整備事業や町道舗装補修事業などにより、前年度比441万円減の6億5,140万円です。

町民1人あたりの予算のつかいみち



町民1人あたりに使われる予算額 **60万4,769円**

※歳出総額を令和4年4月1日現在の人口で割ったもの

特別会計・企業会計予算

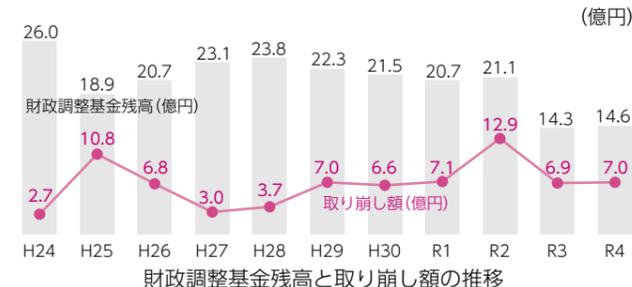
特別会計		36億6,240万円	
国民健康保険	14億630万円	前年度比	3.8%減
訪問介護ステーション事業	2,715万円		2.8%減
介護保険事業	15億2,316万円		0.7%減
介護サービス事業	466万円		0.3%減
診療施設(医科)	3億8,461万円		12.2%増
診療施設(歯科)	4,956万円		0.6%増
後期高齢者医療	1億7,306万円		20.0%増
岩手中部工業団地内工業用地整備事業	9,390万円		75.5%増

企業会計		11億2,115万円※	
水道事業	3億7,819万円	前年度比	0.1%増
下水道事業	7億4,296万円		1.9%減

※収益的支出の額

財源不足に対応するため基金を活用

財源不足に対応するため財政調整基金、いわゆる貯金を取り崩すことにより予算を成り立たせています。令和4年度予算では6億9,509万円を取り崩しており、取り崩し後の基金残高は14億6,412万円となります。



令和4年度 予算

1年間の収入・支出は?

第十二次総合計画2年目 「住みやすさ日本一」のまちの実現に向けて

令和4年度一般会計予算額は、2月定例議会で可決された骨格予算と4月臨時議会で可決された肉付け予算を合わせて92億3,362万円となりました。特別会計・企業会計予算額は47億8,356万円となり、一般会計と合わせた予算総額は140億1,717万円となりました。第十二次金ヶ崎町総合計画の2年目として、「生活環境」、「健康福祉」、「産業」、「教育文化」の4部門における事業を着実に実行し、「住みやすさ日本一」のまちづくりに向けて取り組みます。